

令和2(2020)年度函館市交通事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和2年度の乗車人員は、定期外客が前年度に比べ44.6%減の2,606,998人、定期客が前年度に比べ1.7%減の731,549人となり、合計で38.7%減の3,338,547人となった。

事業収益については、新型コロナウイルス感染症の影響等による運輸収益の減少等により、前年度に比べ345,587,182円の収入減(25.2%減)となり、総額で1,028,187,323円となった。

事業費用については、退職給付費や減価償却費の増加等により、前年度に比べ18,747,845円の支出増(1.3%増)となり、総額で1,423,167,836円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ364,335,027円減少し、394,980,513円の純損失を生じた。

建設改良事業については、魚市場通～市役所前間軌道改良工事、湯の川温泉電停安全地帯改良工事、8000形電車の車体改良等を予定どおり施行した。